上天草市の観光ネットワークに関する研究

熊本大学大学院　学生会員　　杜 君杰　　　熊本大学　正会員　　田中尚人

１．はじめに

熊本県には世界でも有名な景勝地があり熊本地震を契機に一時期激減した外国人観光客も年々増えていて阿蘇山，熊本城などは九州を代表する観光地としての人気を取り戻しつつある.また,「観光」は地方創生の重要な手段の一つであり，地方都市においては地場産業の衰退，人口減少，超高齢化社会など課題に対し，地域がそれぞれの特徴を活かした持続的な社会を創生できるよう新たな観光戦略が求められている.

観光地において，地域特性としての魅力向上を考える上で、観光地の景観や空間の質また機能は重要である．観光地の魅力向上を効果的に進め，競争力などを図っていくためにも，個別の拠点だけでなくネットワークとしての改善点を明らかにすることが不可欠である.

本研究の目的は，上天草市における観光地及び観光行動の変容を道路ネットワークなど地域インフラの整備とともに明らかにすることである.

具体的には，上天草市における観光地を含む地域開発の経緯を整理し，地域社会・環境の変容を参照しながら，観光行動の変化について考察した.

２．上天草市の観光の歴史

本章では、上天草市の近代的なインフラ整備及び観光に関する変化を整理した。具体的には天草五橋が建設された前後30年の間に、地域生業や観光業に関わる歴史変遷の変化を分析した.

(1) インフラ整備に関わる変遷

天草五橋の建設は戦後の復興,1960 年代からのモータリゼーション,1990 年代には市町村合併など地域の様々な活動を支える生命線として活躍している.

(2) 観光発展に関わる変遷

これらの観光に関する歴史を分析すると、第三次産業とする観光業の発展は、観光業の主体そのものに限らず，様々な要因の変化を受けて変化するものであり，例えば本研究対象地における上天草市観光業の発展は,時代ごとの形態において異なる意味を持つ測して対応策を講じることは観光業にとって必要である.

３．上天草市における観光地に関する分析

本章では,日本における観光業の発展とした上天草市の近代的なインフラ整備及び観光に関する変化を整理し歴史変遷について分析して、上天草市における観光施設に関する状況について調査した.

(1) 上天草市地域観光資源に関するまとめ

本研究では，観光行動を分析するため，GIS 分析，ヒアリング調査を行なった.第１節では GIS を参考に上天草市の土地利用の分析**表-１**を行ったが，分析により上天草市の森林の割合が最高約 63.40%,次いで海水域が 11.2%であったことから,本節では上天草市の海水浴場,キャンプ場など主要観光地**表-2** を分析し，その上で市役所職員に取材したところ，上天草観光に関する計画を分析した.

凡例	メッシュ数	割合
田	819	6%
その他の農用地	1022	7.69%
森林	8431	63.40%
荒地	108	0.80%
建物用地	1010	7.60%
道路	9	0.00%
その他の用地	214	1.60%
河川及び湖沼	127	1%
海浜	22	0.10%
海水域	1487	11.20%
ゴルフ場	51	0.40%

表-１上天草市土地利用メッシューデータ

(2) 上天草市の観光政策の変遷

本節では，観光に対する主観的な意味づけやそれに用いられる歴史・記憶を聞き出すために，調査の対象となった上天草市の市役所職員に関して，ヒアリング調査を用いた．本研究のヒアリング調査は，研究対象地の魅力,観光地の歴史変遷,現状,計画，問題点などと定義されている上で市役所職員に取材したところ，上天草観光に関する計画を分析した

(3) 上天草市の観光政策に関する分析

上天草市の観光事業において，上天草市の行政面では道路の建設を積極的に推進していることから、観光客が道路で不要な時間を消費することを減らしてい

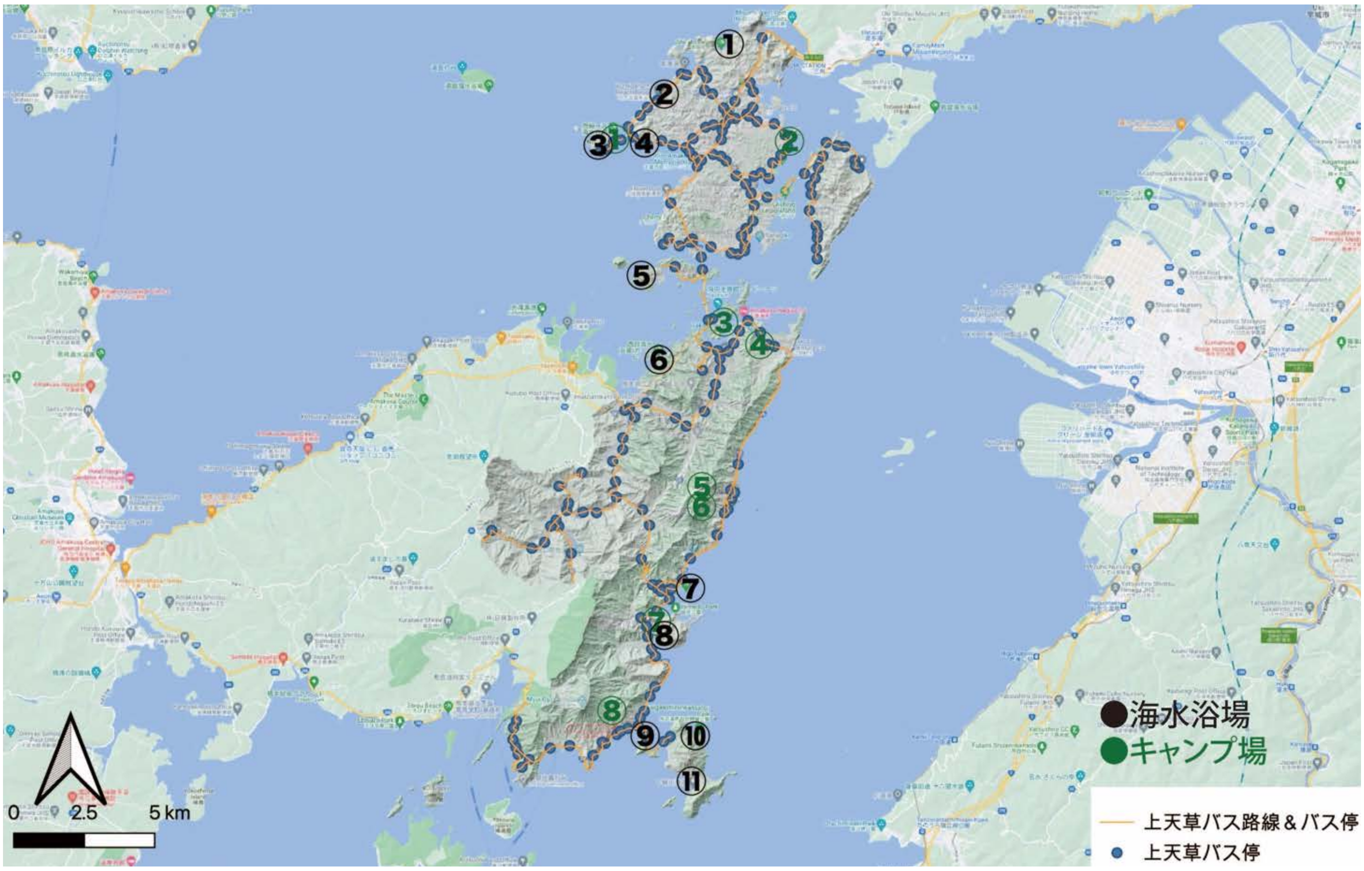

表-2 上天草市主要観光地の分布

るほか，上天草市がソフト面輸出を増やし続けていることから，外部の人にとって上天草訪問の意欲が高まっている。公共施設の修繕など計画を行った．このようなことから情報の伝播や、観光地までの交通ネットワークなど，人とつながりがあれば、観光行動は成立すると予想され．またもう２つの条件は「個体的要因」と「環境的要因」をめぐっている．この 2 つは人間の行動に必要な要素とされている．観光活動においても、行動に必要な要因が適用され、観光客をめぐる環境や旅行会社などの推進の下で，観光客も観光行動を起こす。また、観光条件の料金や時間の許す限り，観光行動が起こりやすいと考えられる．

4. 観光アクティビティの変化に関する分析

本章は上天草市の行動軌跡データに基づき，上天草市各観光地の行動軌跡，滞留時間，訪問者数を分析し，そのデータを上天草市の人気観光拠点とした道の駅さんぱーるとリゾラテス天草との関係性を分析した上で，結論に基づき，上天草市の観光行動をベースとする風土，施設等を提案した．

本研究では上天草市の観光地及び観光行動において、これからこれまでの研究では見られなかった個人レベルの分析を踏まえ，上天草市における観光地を含む地域開発の経緯を整理し，地域社会・環境の変容を参照しながら，観光行動の変化について考察した．2 章ではでは、天草五橋の建設は天草と外部との接続が不便な問題を終わらせ、上天草の産業、生業、生活がこれまでとは大きな変化をもたらしたことがわかった．3 章では，ヒアリングなど調査による上天草市観光地の現状と将来計画を分析した．結果は様々な場面から上天草市観光情報を知り、そこから観光行動の形成は片方的なものではなく様々な連携しなら自然を生かした観光資源の活用が大切と考えた．4 章では，観光行動の変容を考察するために，観光拠点施設と自然観光資源の観光行動データに着目し，分析を行なった．結果，コロナの影響や近年エコツーリズムをはじめとした「持続可能な観光」による観光行動を変化したことがわかった．また，データ分析により，上天草市の観光実態を踏まえて風土性の表現に関する見解を考えた．

参考文献

1)「天草の門」
2)上天草市 HP 観光おもてなし課
3)Area　Marketer